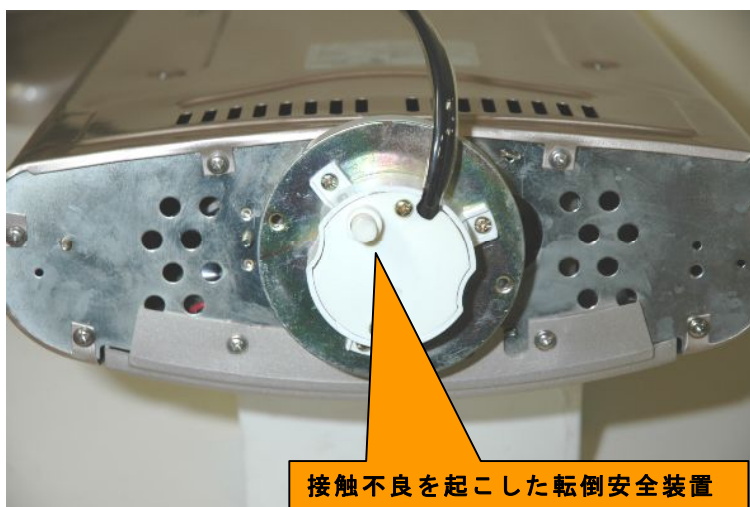


ハロゲンヒーターに起因する焼損事故

事故概要

冬季、ハロゲンヒーター（電気ストーブ）を使用していたところ、突然スイッチが入らなくなり暫くすると、樹脂が溶ける臭いがしてきました。使用者が、早期に臭いで気づきハロゲンヒーターを確認すると、底面の転倒安全装置の「スイッチノブ」が溶けており、その内部が煤けていました。火災等は発生しておらず消火には至りませんでした。（非火災扱い）



原因概要

ハロゲンヒーターの取扱い説明書に記載されていた「段差が発生する場所での使用はやめてください。」を守らずに使用していたことから、転倒オフスイッチ部分で接触不良の状態となり、発熱し転倒オフスイッチノブが熔融して短くなり電源が入らなくなったものと推定しました。

類似火災の防止対策

このような事が身近で発生したならば、使用を控え、消防署へご連絡下さい。また、取扱い説明書などをよく読んでから使用してください。

この製品については、今回と同様の事故が他になかったため社告・改修には至りませんでした。メーカーでは毎年安全面で改良を加えられており、2005年には転倒オフスイッチの構造をボールタイプに改良しています。

・・・火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。・・・